

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [星槎国際高等学校] 担当教諭名 [吉田 真由美・尾崎 修一] (1-3年 6名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [Prepa Tec, Campus Cumbres] 担当教諭名 [Karel Van Beneden]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	課外活動	国際アートマイル	28

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Paradox between Nature and Culture
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	科学技術と環境問題の両面を知り、私たちの未来を考えていく



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・単独行動の多い生徒たちが、友人たちと一つのものを作り上げる素晴らしさを実感できた。 ・お互いの文化を知ること、日本らしさ、自分らしさを見つけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流という観点からいえば、もう少し生徒自身からの発信をさせたかった。計画作りをするだけでなく、コミュニケーションを図る場面設定をする必要がある。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコのニュースがあるとみんなで話題にするなど、日頃からの関心が高まった。 ・調べた分だけ長い文章にすることが良いと思っていたのが、要約することの大切さに気づくことができた。相手への伝え方を考えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国の取り組み方に熱意を感じた。こちらも母国の代表として恥ずかしくない取り組みと作品を作成しなければならないと再認識できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	・自己紹介のビデオ撮影 ・日本について調べ学習 ・学校の課外活動について紹介	早くにメキシコから映像が届き、生徒たちは、目を見開いてじっと見ていた。広大な敷地にカラフルな教室、活発な生徒たちに刺激を受けていた。	課外活動 6
共有 テーマ学習	11月	・メキシコから送られてきた「日本のイメージ」を元にディスカッション ・全校生徒に「日本人といえば誰ですか？」アンケートを実施	メキシコで有名な日本人はオノ・ヨーコ、昭和天皇であることに驚いた。アンケート結果では、スポーツ選手を挙げる生徒が多く、海外とのギャップがあることに気づいた。	課外活動 3
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月 12月	・構図の話し合い ・環境問題について調べ学習	絵のテーマは早くに決まったが、テーマを絵に表すことに苦労した。煮詰まっていた時に相手からたくさんのアイデアが送られてきたのでとても喜んでいった。絵が好きな生徒はさらにモチベーションが上がっていた。	課外活動 2
創造 壁画制作	12月	・絵の制作	単独行動が多い生徒たちであったが、みんなで協力して描くことができた。全体を見ながら大きさや色のバランスに気をつけていた。	課外活動 16
評価 振り返り 自己評価	3月	・共同制作した絵の鑑賞	分割した画面より、1つの絵になっている画面の方が良かったという意見があった。相手の完成度が高く、反省点が多かった。	課外活動 1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	相手国の日本に対する意外な観点があると感じた。日本の文化に誇りをもてた。問題点についても考えることができた。
異文化の理解	B	2	日常ではさほど知らずと思わなかったが、顔が見える関係になったことで積極的に調べようとする姿勢が少しでてきた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	意思の疎通が苦手な生徒であったが、自分なりの説明を英語に訳して何とかして伝えようとする意欲は感じられた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	インターネットを活かして、様々な情報を得ることができた。文章を要約して、わかりやすく伝えることができた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	2	それぞれがとてもマイペースであった。ただし相手からのメッセージはなるべく早く返そうと努力した。
協働する力 (役割分担・協力)	B	3	役割を分担すると一生懸命に取り組んだ。生徒同士の声かけがあるとよかった。
学習を追究する意欲	A	2	指示されたことはできたが、それ以上に探求しようとする姿勢はあまり感じられなかった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	4	日本の紹介に不可欠な産業や文化を表すことができたと思う。決して絵心があるわけではないが、精一杯描きあげた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	4	自分たちができていない部分に気づくことができた。相手へ感謝の気持ちをもつことができた。